

令和5年度 第1回 西いぶり定住自立圏共生ビジョン懇談会 要点記録

室蘭市企画課作成

日 時：令和6年2月22日 14:00～15:00
場 所：西いぶり広域連合 2階会議室
出席者：永井座長、西下委員代理、佐藤委員、松村委員、赤保内委員、石田委員、粟津委員、加藤委員、松原委員
事務局：室蘭市企画課 佐竹課長、門澤係長、戸田主任
オブザーバー：登別市総務部企画調整グループ 大内主査
西いぶり広域連合 総務課 鈴木課長
胆振総合振興局地域政策課 福士係長

■ 議題1 令和5年度定住自立圏事業の実施状況について

資料について、事務局より説明。

◆ 意見交換、質疑等

(委員)

- ・⑫広域総合学習推進事業のところで室蘭市の2校実施というのは、室蘭市内の学校2校が北黄金貝塚を見学したということか。

(事務局)

- ・その通りとなっています。

(委員)

- ・科学館広域出前講座について、縮小していくこととなっているが新しい科学館になると縮小していくのはなぜか。

(事務局)

- ・市内小学校の授業への対応、市外から修学旅行生の対応が増えることが予想されることなど人員体制的にも外にでて講座を行うことが難しくなっている。

(委員)

- ・実際に修学旅行がどんどん増えている等の受け入れなど実績はあるのか

(事務局)

- ・コロナ禍もあり、その点は難しかったと考えられる。

(委員)

- ・地場製品の消費拡大の関係では、大幅に増加とあるが、どこでどんな風に行っているものか。市内なのか、札幌なのか。

(事務局)

- ・各市町で開催しているイベントなどで、地場製品の販売等を行っているもの。

(委員)

- ・そのときに、西いぶり定住自立圏の事業であるというような周知はしているのか

(事務局)

- 基本的には、そのような形ではなく、各市町がそれぞれ行っている特産市などとなっている。

(委員)

- 移住定住の促進というのが、相談会のような形の参加が31名とあるが、実際に移住した実績などは把握しているか。

(事務局)

- 実際にその方が転入しているかは、各自治体ではなかなか追い切れないのが実態。

(委員)

- 今後、把握したいと考えているか。

(事務局)

- 把握したいと考えてはいるが、転入したときの情報をとる手段が限られることから把握することは難しいのが現実となっている。

(委員)

- 効果を図りにくいということか。

(事務局)

- 実際の数字としては、おさえにくいところはどうしてもある

(委員)

- ◎環境意識啓発事業にある環境家計簿という記載があるが、環境家計簿とはどのような取り組みを指しているか教えていただきたい。

(事務局)

- 室蘭市の取り組みで、申し上げますと、家庭での消費電力がどうなっているかを家計簿形式で記録していただいている。実際、動きが広がっているかと言う点に関しては、広がりが薄いところはある。

(委員)

- 私もそのように感じている。環境家計簿と話があがったときはあったが、各家庭で家計簿を付けることもなくなっていることから、文言を代えていただきたい。

(事務局)

- 物価高騰・燃料高騰がある中で、いかに家庭の電力消費を抑えていくかは意識しないながらも少しずつ広がっていると感じる、全体的な表現の仕方は、検討させていただきたい。

(委員)

- 環境でいうと観光もそうだが、町自体がきれいでなければならないと思う。ポイ捨てをゼロにすることは、なかなか難しいこと。ゴミを捨てる人は何パーセントかいる。他の町はゴミをゼロにしようとしているまちもあるため、そこを参考にして勉強するべき。まちの中をきれいにしないと住みたいと思わないし、観光客も来ないと思う。啓発も取り組みに入っているため、やっていかななくてはならない。

(委員)

- ②救急・周産期医療対策事業について、1月頃に日鋼記念病院の産婦人科を撤退がすると言う記事が出ていた。周産期医療の指定病院になっていたかと思うが、周辺市町村で安心したまちづくりというのがこの会議のベースになると思うが、お子さんを生める環境がどうなのかという話になるが、この件に関しては事務局として動きはあるか。

(事務局)

- 日鋼記念病院で5月末に産婦人科の休止に関する報道があったが、要因としては、大学からの医師の派遣の兼ね合いと聞いている。室蘭市も含めて、西いぶり圏域の「地域医療」をどうしていくか大きな課題ととらえているが、今時点で、情報収集などを進めているが産婦人科が休止になるということについては大きな動きはない。なくなった後に、どうしていくのか、域内の子どもを産める場所は製鉄病院の1カ所になってしまい、それを含めてどうしていくかを考えていかなければならない。

(委員)

- ⑩不法投棄防止啓発事業についての不法投棄について、警察官2名ずつでパトロールしているところだが、どうしても不法投棄がおさまらない場所について、監視カメラ等、今は高性能で安価なものも増えておりますので、そういったところの設置等は検討されているのか。

(事務局)

- 実際の各市町の取り組みについてはおさえていないところではあるが、やはり先ほどもお話しがあったが、観光の面でもゴミの少ないまちというところは、注意していかなければならない。不法投棄の部分も以前から数は減少していると思うが、やはりなかなかゼロにするというところまでは難しい部分もある。

そこに対していわゆる監視の目を入れるという話というのも以前よりあったかと思うが、個人の肖像権などいろいろな課題もあると思いますので、ご意見としてワーキンググループにも情報を伝えていく。

(委員)

- 連携項目に挙がっているものは、先ほどの地場産品というところと絡むかなと思うが、すべてに西いぶり定住自立圏共生ビジョンの事業と、冠がついているわけではなく、それぞれの公なり民間なりがやっている事業を取りまとめたということか。

(事務局)

- 実際、冠をつけてイベントをやっているかという、すべてそういうわけではないのが実情ではある。ただ、実施目的は、定住自立圏ビジョンの目標、目的を達成するということを念頭において、各市町の予算でやっている。

(委員)

定住自立圏共生ビジョン懇談会として独自に予算されているものは特になんということか。

(事務局)

独自に予算化しているものではない。

(委員)

- ・⑪再生可能エネルギーの導入促進事業で、連携項目は伊達市の記載があるが、令和5年の取り組みでは、実施事業無しとなっているが問題はないか。

(事務局)

- ・令和5年度での新たな事業はないという意味であり、ビジョンの中で事業費の額を設定している事業は、継続的に実施をしている。

■議題2 共生ビジョン変更(案)について

資料について、事務局から説明。

◆意見交換、質疑等

(委員)

意見無し

■その他

(事務局)

- ・共生ビジョン懇談会につきましては、令和2年度に対面で開催し、3年ぶりに対面で開催させていただきました。この計画につきましても、令和2年度に改定した後、すぐにコロナ禍に入ったところであります。今後、感染症等の拡大防止がなければこれまで通り2月頃に開催をさせていただきたいと考えており、次回につきましても来年の2月頃を予定しております。また、日程が決まりましたら委員の皆様にはご案内をさせていただきたいと思っております。
- ・少し先の話になりますが、現在の共生ビジョンにつきましては令和2年度に改定いたしまして、計画期間が令和7年度までの5年間となっております。今日も各委員の皆様からお話ありましたが、今のコロナを踏まえまして今の時代にそぐわない表現ですとか、生活スタイルの変更だとかもありますので、そういったことも踏まえた上で次期改定に向けて作業を進めてまいりたいと思っております。本格的な作業につきましては、令和7年度に作業を進めてまいりたいと思っておりますので、引き続き各委員の皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思います。

以上